

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	猫の殺処分ゼロへ向けての事業
事業主体 (連絡先)	こねこの会 (会計担当 竹内満美子 080-5140-8612)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト、ハード
総事業費	3,302,424 円 (うち支援金: 1,594,000円)

事業内容

- ・松本保健所の処分猫を引き取り、殺処分数を減らす。
- ・猫を持ちこんだ人、これから飼う人への啓発
- ・引き取った猫の新しい飼い主探し
- ・引き取った猫の治療
- ・譲渡猫の不妊手術100%実施
- ・新たに処分される猫を減らすための啓発



【3/21 第2回譲渡会】

【目標・ねらい】

- ① 松本保健所の殺処分数の減少
- ② 処分される猫を減らすため猫の正しい飼い方の啓発
(地域住民の苦情の減少)
- ③ 独居老人、引きこもりの方の支援

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

松本保健所の猫の殺処分数を減らすためにTNR活動も初めて地域のボランティアと協力して行い、地域の方々への啓発により、地域で困っている方たちが声を掛け合い、苦情が出ていた地域で不妊手術をすることにより、困っていた住民たちの解決の手助けができた。

また、譲渡会を開催する広報により、保健所に持ち込まれた猫たちを助けようというたくさんの方の協力が得られ、参加者が2回で400名近くになり、多くの人に現状を知ってもらい、猫の飼い方次第で近所からの苦情が無くなること、処分される猫が減らせることを知ってもらうことができた。

※自己評価【B】

【理由】 着実に処分数が減ってきている。処分数を減らすために開催した譲渡会では2回で400名近い方が参加してくださり、地域の方々の意識を高めることができたと思う

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続して、譲渡会を行い、猫の飼い方の啓発活動を続けていくこと。TNR活動の協力で地域での猫の苦情問題を減らしていくこと。これらは継続していくことにより、殺処分ゼロに近づくことができると思う。また、猫を飼えない年配の方などからシェルターに遊びに行くことで飼えなくても癒されることができ、ボランティアの手伝いもしていただけるためシェルターの充実に努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある